



校長室より

“ありがとう”そして“輝跡”

校長 小林 敬治

『ありがとう ～届けたい大切なあなたへ～』

10月26日と27日の両日行われた文化祭は、現在の島田中を表現したすばらしい文化祭になりました。多くの保護者や地域の皆様にも来校していただきました。心より感謝申し上げます。

生徒会、実行委員、そして3年生が中心になり、文化祭を輝跡（輝く足跡）にするために一生懸命準備を進めてきました。当日は各係や各学年も加わり、全校生徒が心一つにして、様々なプログラムを発表していきました。

生徒会のユーモアを交えた心温まるオープニングで文化祭は開幕しました。

今年の学年発表は、人形浄瑠璃、学年劇、学年合唱でしたが、どの学年も外部から指導者を招いて指導していただき、大変レベルの高い発表になりました。1年の学年発表では、夏休みにご講演いただいた福島ひまわり里親プロジェクト理事長の半田真仁さんも、講演先の広島から急きよ来校され、ご覧いただきました。

その後、英語スピーチ、ホームステイ体験発表では堂々とした、趣向を凝らした発表。保健委員会は、本校の課題の「骨」について、クイズ形式で発表を行い、今後の参考になりました。

午後は有志企画で始まり、5グループが、歌や演奏やダンスを披露し、館内を盛り上げました。

初日最後は、県内では珍しい家庭科部による大がかりなファッションショー。館内は最高潮に達し、エンディングとともに終了しました。

発表はステージだけでなく、体育館壁面のモニュメント、2年教室を中心に数々の文化部や生徒の作品が展示され、日頃の成果を発表しました。

2日目はいよいよ合唱コンクールです。合唱委員を中心に毎日、朝と放課後に練習を積み重ねてきました。学校全体に合唱の音が響き渡った2週間でした。当日は歌う前に体育館外で音合わせをする学級もあり、緊張の中で本番が始まりました。1年生、2年生、3年生と発表しましたが、その学年にふさわしいすばらしい歌声を響かせてくれました。結果は出ましたが、どの学級もリハーサルから大きく成長し、レベルの高い歌声でした。

合唱の締めくくりは、全校合唱でした。多くの保護者や地域の皆さんの前で、館内いっばいに響き渡る歌声を披露しました。その後、特別審査員の坂井先生から講評をいただきました。

最後は、県大会で2年連続金賞に輝く吹奏楽部が迫力のある演奏で文化祭を締めくくりました。

エンディングで実行委員が、ありがとうの気持ちを伝えましたが、校長として、感動の連続となった文化祭を作り上げた生徒全員にありがとうの感謝の気持ちと、輝跡としての1ページを記したことを伝えたいと思います。

PTA、おやじの会の皆様には、前日から昼食バザーの準備をしていただき誠にありがとうございました。バザーで食べた味は、生徒にとって忘れられない味になると思います。教職員共々深く感謝申し上げます。



全校合唱『心の中できらめいて』

今月のアルバム

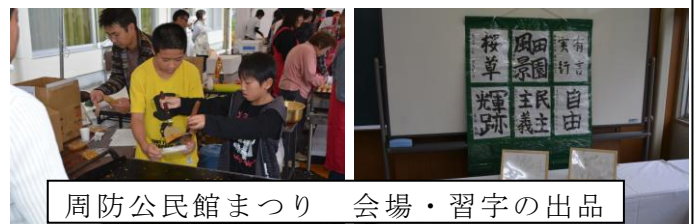
豊かな心を育てる参観日 11月9日(土)



竹内昌彦先生の講演

午後から参観授業と講演会が行われました。講演会では岡山県立岡山盲学校講師の竹内昌彦先生が、「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」と題して、命の大切さなどをユーモアや涙を交えて語られました。

公民館まつりのボランティア



周防公民館まつり 会場・習字の出品



三島文化祭 司会・吹奏楽部演奏